

令和7年度沖縄県総合福祉センター指定管理者制度運用委員会 議事概要

【開催日時】 令和7年7月15日（火）15時15分～16時15分

【開催場所】 沖縄県総合福祉センター

【次第】

- (1) 開会
- (2) 委員・事務局自己紹介
- (3) モニタリング実施結果の検証について
- (4) 閉会

【委員】 ◎：会長

◎島袋 裕美	学識経験者
比嘉 孝明	財務に精通する者
蔵当 三紀夫	施設の機能又は指定管理業務の性質に応じた専門的知識を有する者
島袋 奈津子	施設の利用団体（者）を代表する者
尾尻 孝子	施設の利用団体（者）を代表する者

【議事内容】

モニタリングシート及び指定管理者からの提出資料について事務局より内容説明。質疑応答は下記のとおり。

比嘉委員：貸借対照表は今年度から資料に含まれるようになっているか。内容を見ると、繰入金779万円の記載があるが、収入が支出を上回った分を翌期に繰り越しているという認識でよいか。

事務局：貸借対照表については令和6年度の指定管理者運用委員会の質問事項を踏まえて追加したところ。繰入金については、次年度の繰越ではなく、社会福祉事業への繰り入れをしている。

蔵当委員：利用者アンケートについて、利用者数に対して回答数が62となっているのは少ないように思える。アンケートの実施方法については、多くの利用者が回答できるように工夫が求められるのではないか。

事務局：令和6年度までは利用者アンケートの実施期間を設けていた。今年度については実施期間を通年としている。また、回答方法については、従来の記入形式に加えてWEB形式の導入も検討している。

比嘉委員：資料2には電話機等の備品があるが、指定管理者の備品と県の備品は区別できる状態になっているか。また、指定管理の仕様書には「必要な備品を日常的に管理し、廃棄をするにあたっては県へ届出をする」旨の記載があるが、このとおり実施しているか。

事務局：備品の管理については、県のシステムにおいても管理している。令和6年度中に備品の照合作業を実施したところである。また、県と指定管理者で備品を適正に管理できるよう令和7年度からは年度協定書に備品リストを追加している。

比嘉委員：資料2の貸借対照表を参照したところ、同一法人内であっても本来年度内に精算しなければならない事業区分間借入金で精算されていない。また、資産の部の退職手当積立基金預け金と退職給付引当資産の合計と、負債の部の退職給付引当金の合計が一致していないのが気になる。

事務局：借入金については、出納のスケジュール上年度内に貸借対照表と揃えることが難しく、公認会計士に相談し、決算で相殺するような形で処理している。年度内に金額が揃っていることが望ましいと認識はしているので、早めの処理に務めたい。退職手当積立基金預け金と退職給付引当資産の合計と、負債の部の退職給付引当金の不一致については、沖縄県社会福祉事業共済会等に預け出しをしていることによる。

比嘉委員：余剰資金は社会福祉事業への繰り入れをしているとのことであったが、センターの修繕等に活用するという方法も考えられるか。

事務局：その方法も検討の余地はある。

島袋委員：備品関連では、新図書の入荷の案内はエレベーターホール等にあればよいと思った。入居団体の立場としては、入居料の支払い期限に余裕がないと感じることがある。

事務局：入居団体が余裕を持って入居料等の支払いができるよう、事務処理の適正化に努めたい。

尾尻委員：利用者に階段の利用を呼び掛けるのはどうか。小さな積み重ねではあるが、健康の維持や電気代の節約にもつながるのでは。入居団体という立場で実践しているところではあるが、他の団体でも実施できることだと思う。

会 長：アンケートの満足度も前年度はCであったのが今年度はSとなっているとはいえ、「やや満足」と回答した利用者が多いのは気になるところである。アンケートの項目も改善の余地があるのでは。資料1のP8においては、総合評価がAとなっているが、アンケート結果を参照するとBとなるのではないか。

事 務 局：総合評価については、アンケートの「また利用したい」と答えた利用者の割合ではなく、各評価項目の平均により評価するものとなっている。そのため、Aとなっている。評価方法がわかりやすく表記できるよう改善に努めたい。

島袋委員：モニタリングシートではモニタリング実施日が確認できないことも気になる点であった。口頭では聞いているが、資料で確認できると良いのでは。

事 務 局：モニタリング実施日についても確認ができるよう記載方法を改善したい。

尾尻委員：エアコンの使用料等は毎回現金で支払いをしているところだが、利用者の立場でいえばキャッシュレスにも対応していると良いと考える。

事 務 局：キャッシュレスの導入が検討できるか、事務局でも検討しているところ。

比嘉委員：資料1のP3に記載のある施設稼働率の計画値については、実績と乖離がないか。例えば展示室は計画値が70%程度となっているが、実績は90%以上となっている。計画値が低いと高い評価が出やすくなってしまうので、実績値に近い目標設定ができるのではないか。

事 務 局：令和5年度が指定管理者の最終年度であったので施設稼働率の計画値については、令和6年度の指定管理者選定時のプロポーザル時の数値を用いた。計画値の設定方法は検討の余地がある。